

令和4年9月22日発行  
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

## 好きこそ物の上手なれ

前期後半がスタートして3週間。今年の夏休み明けは、今のところ、各学年の学習や学校生活、行事も計画とおりに実施できています。過日、現5年生の林間学校がありました。子供たちにとっても初めての宿泊学習ですが、私たち教員にとっては、3年ぶりとなる泊を伴う学校行事にコロナ対応が加わり、緊張の引率となりましたが、子どもたちの主体的な活動により、アクシデントなく帰校することができました。

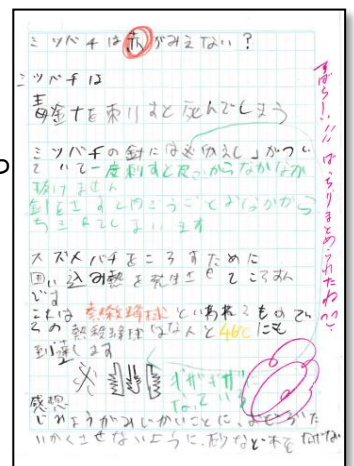
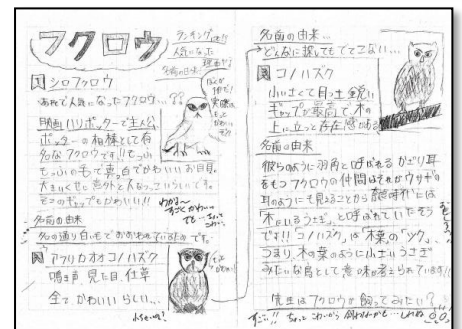
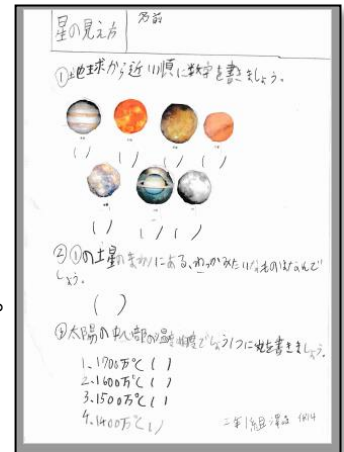
ところで、今年の夏休みの宿題に、「テストを作って校長先生に答えてもらおう」という、課題があったことをご存じでしょうか？この宿題に3年生澤崎俐斗（さわざきりと）さんが、宇宙（太陽系）に関するテスト問題を作って、提出してくれました。「一見、簡単かな？」と思わせる問題ですが、一ひねりしてあり、即答できず調べ学習をしながら解きました。まだ採点してもらっていないので、9月中には澤崎さんに提出したいと思います。私たちの年代は、冥王星が太陽系の惑星でしたが、2006年から惑星ではなくなりました。今回の宿題で、宇宙の不思議を改めて感じることができました。澤崎さん、ありがとうございます。

夏休み明け、図書室用に「地球物理学大図鑑」という新しい本を購入しました。この本が面白く、図書室に置く前に一通り見て読んだところ、「フクロウ」の説明が初めて知ることばかりで、全校朝会で本の購入のお知らせと共に、「フクロウ」について話しました（伝えたかったことは、たくさん読書をしましょう。「なぜ」「なに」と思ったことを自主的に解決しましょうということです）。数日後、6年生齊藤幸亮（さいとうこうすけ）さんが、自主学习でフクロウを調べてくれました。理解しやすい説明に挿絵と構成が素晴らしいと思いました。齊藤さん調べによると、フクロウの仲間のコノハズクは、奈良時代「木にいるうさぎ」と呼ばれていたそうです。齊藤さん、お疲れさまでした。

夏休み中に校舎前のアオギリの幹の穴にミツバチが巣を作りました。子どもたちが刺されてはと思い、駆除しようと考えましたが、ミツバチは穏やかな性格のハチで、危害を加えない限り攻撃をしてくれないので、ミツバチ注意の看板と立ち入り禁止区域を設け、見守ることにしました。子どもたちは、登校すると花粉団子を付けた働き蜂の帰巣を見たり、巣の温度を下げるための羽ばたきの音を聞いたり、ちょっとした観察を味わえました。そうしたら、6年生北心愛（きたここあ）さんが、これまた自主学习でミツバチを調べてくれました。北さん調べによると、ミツバチを食用とするスズメバチから巣や仲間を守るために数十匹で取り囲むことを「熱殺蜂球」といい、取り囲んだ内部温度は、46度にもなるそうです。子どもたちは刺されることなく、今、巣は空になっています。北さん、お疲れさまでした。

今ある職業がなくなり、新たな職業が生まれる時代。今までは、「魚の釣り方を学ぶ時代」でしたが、これからは、魚を釣りたいけど竿がない。どう釣る時代」になります。「この問題の答えは〇〇」ではなく「この問題を解くには〇〇」というような、「答えを知るために勉強する」のではなく、「答えを見つけるための方法を学ぶ」ことが重要になります。

そのために、子どもの興味・関心の内容やタイミングを大切に、「わくわく」「のびのび」学べる環境をサポートできればと考えます。



- \* あなたの自主学习、見させてください。（担任の先生を通じて、提出してください）
- \* テスト問題、いつでもどうぞ。（算数、理科、社会でお願いします 国語は苦手教科なのでゴメン）

## 5年生林間学校 ～小学校生活 初めての宿泊学習～

9月13・14日（火・水）に5年生が林間学校に行ってきました。天候にも恵まれ、よい気候の中での実施となりました。

1日目。秩父ミュージックパーク内のフォレストアドベンチャーでは、森林の中で遊び、大自然を満喫しました。午後は、宝登山に登り、小動物公園で動物に触れました。長瀬げんきプラザでは、キャンプファイヤーを楽しみました。

2日目。絞り染め体験では、一人一人がオリジナルのハンカチをつくりました。野外炊事では、みんなで協力してカレーライスづくりを行いました。県立自然の博物館では、自然科学について学びました。

たくさんの素敵な思い出が詰まった最高の林間学校になりました。



## 4年生社会科見学 ～教科書では学べない生きた経験を～

9月16日（金）に4年生が社会科見学に行ってきました。江南清掃センターでは、自分たちの出しているゴミがどのように処理されているのかを実際に見学し、県立川の博物館では、アドベンチャーシアターやわくわくランドで楽しみながら学び、東秩父村和紙の里では、紙すき体験で、和紙を自作しました。学校では、学べない貴重な体験をすることができました。



裏面もあります